

教育部アンケート結果

一般社団法人山形県理学療法士会教育部では、育児世代の会員のリカレント教育の現状について、アンケート調査を実施いたしました。ご協力いただきありがとうございました。

【対象】一般社団法人 山形県理学療法士会 会員 748 名(平成 27 年 5 月末時点)

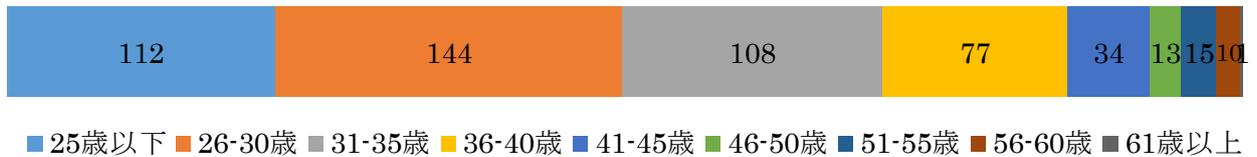
【調査期間】平成 27 年 6 月 1 日～7 月 6 日

【方法】施設勤務者は施設単位で、自宅会員は個別にアンケート用紙を郵送し、同封した返信用封筒で返信していただいた。

【結果】514 名(返信率 68.7%)から返送があった。

1) 属性

1-①年齢



1-②性別



1-③勤務形態



<その他の記載内容>

- ・時短勤務
- ・短時間正社員
- ・無職
- ・臨時

1-④所属施設の種類



1-④-1 医療施設



<その他の記載内容>

- ・看護ステーション
- ・小児施設
- ・精神病院
- ・通所リハ
- ・療養回復期病院

1-④-2 社会福祉施設



<その他の記載内容>

- ・障がい者支援施設
- ・知的障がい者施設
- ・通所介護
- ・通所リハ
- ・特老

1-④-3 教育・研究施設

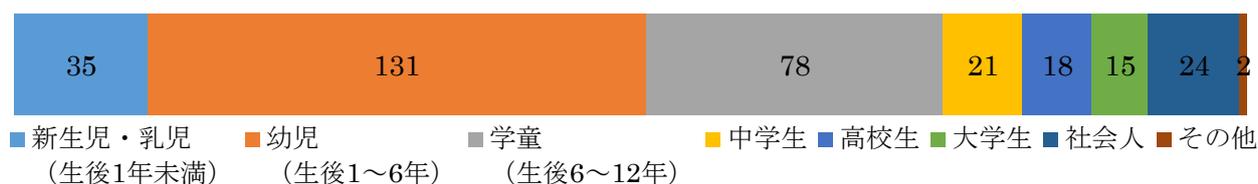


2) 子供がいる方の現状

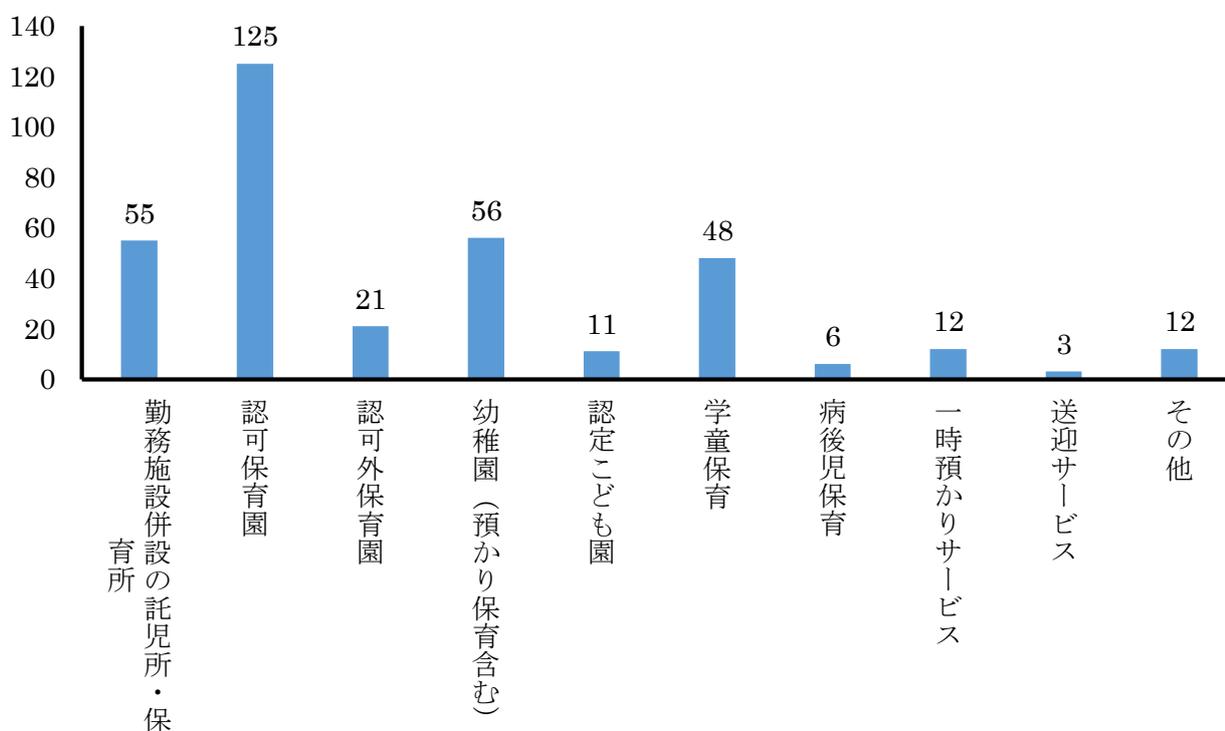
2-① 子供の人数



2-② 子供の年代区分



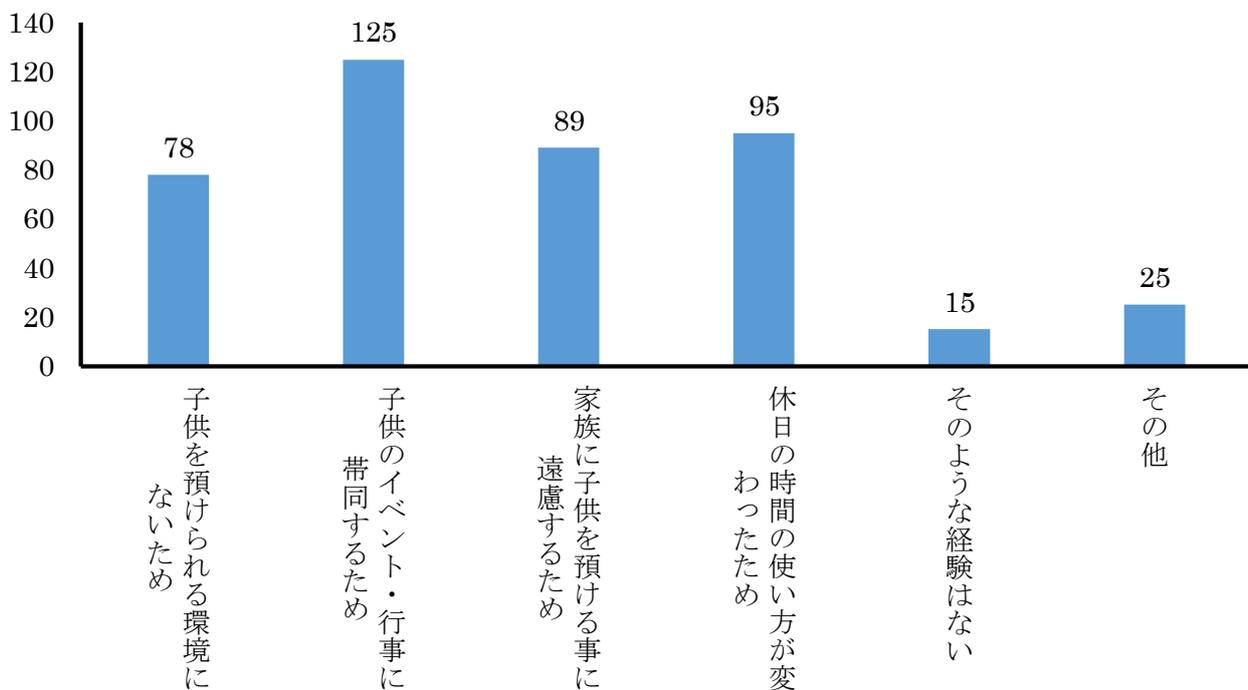
2-③ 利用している保育サービス



<その他の記載内容>

- ・育休中につき今後利用
- ・子育てタクシー、ファミリーサポート等
- ・実家
- ・祖父母
- ・普通の家・保育ママ
- ・利用なし

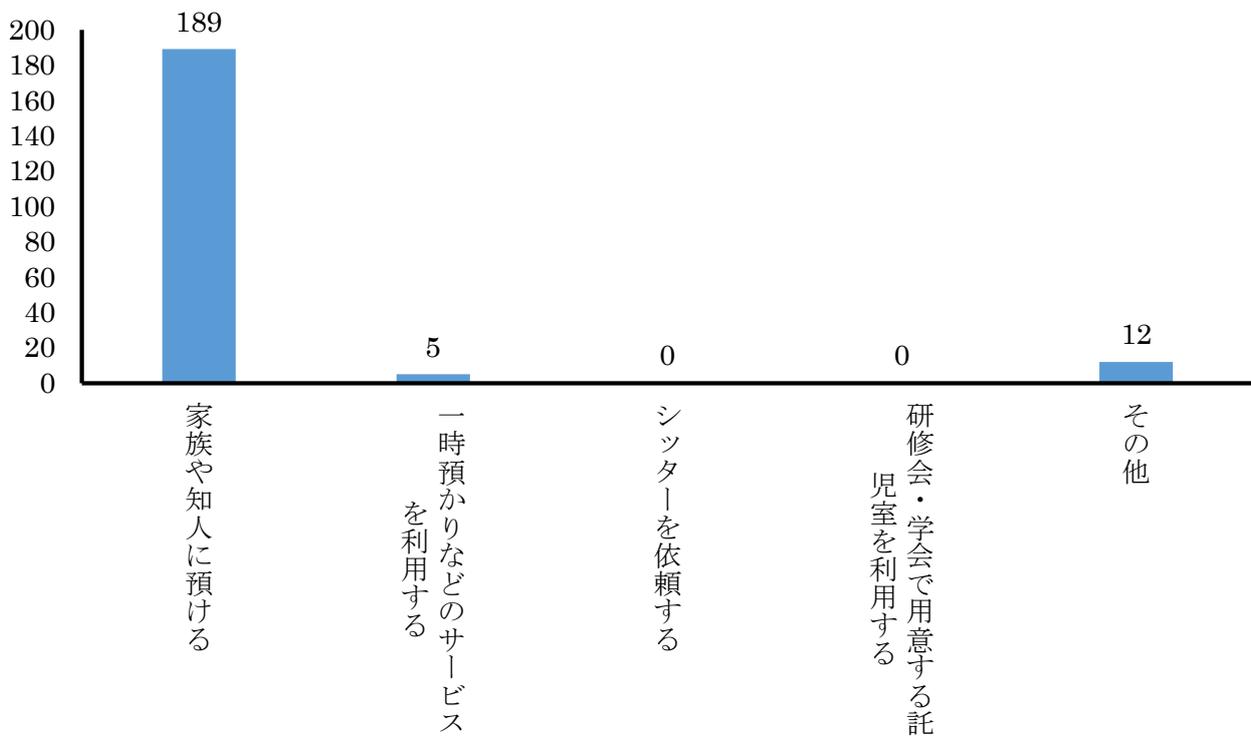
2-④ 研修会・学会等に参加できない理由



<その他の記載内容>

- ・延長保育はしたくない
- ・お金の面で参加しにくい時がある
- ・夫が出張でいないことが多い
- ・家族優先することがある
- ・急に発熱した時
- ・経済的理由
- ・研修会よりも子供に関わることの方が大事に思うことがある
- ・研修の実施時間帯が夜間のため
- ・子育てにお金がかかり、研修会・学会費用を捻出できないため
- ・子供、家庭中心の考え方になってきたため
- ・子供との約束(予約)があるから
- ・子供のお迎えに間に合わない
- ・子供を預ける人との予定が合わない
- ・祝日で2-③のサービスも利用できない事もあった(調整つかない)
- ・祖父母ともに働いている、夫の協力が得られない、平日働いているので土日くらい子供といたい
- ・常に研修会等が最優先とはいかない
- ・妻の勤務のため
- ・妻の負担が増えるため
- ・妻も勤務のため
- ・出来るだけ早く帰宅し、子供との時間はもちろん家事への参加もしたい(必要とされる)ため
- ・土日など家族のために時間を空けることを優先せざるを得なくなった
- ・共働き、休みが合えば時に家族との時間を優先することも必要
- ・平日、残業が続き、休日くらいは子供と一緒に過ごしてあげたい
- ・夕方等は子供を迎えに行く時間と重なることが多いため
- ・予定が知らされるのが遅かったため

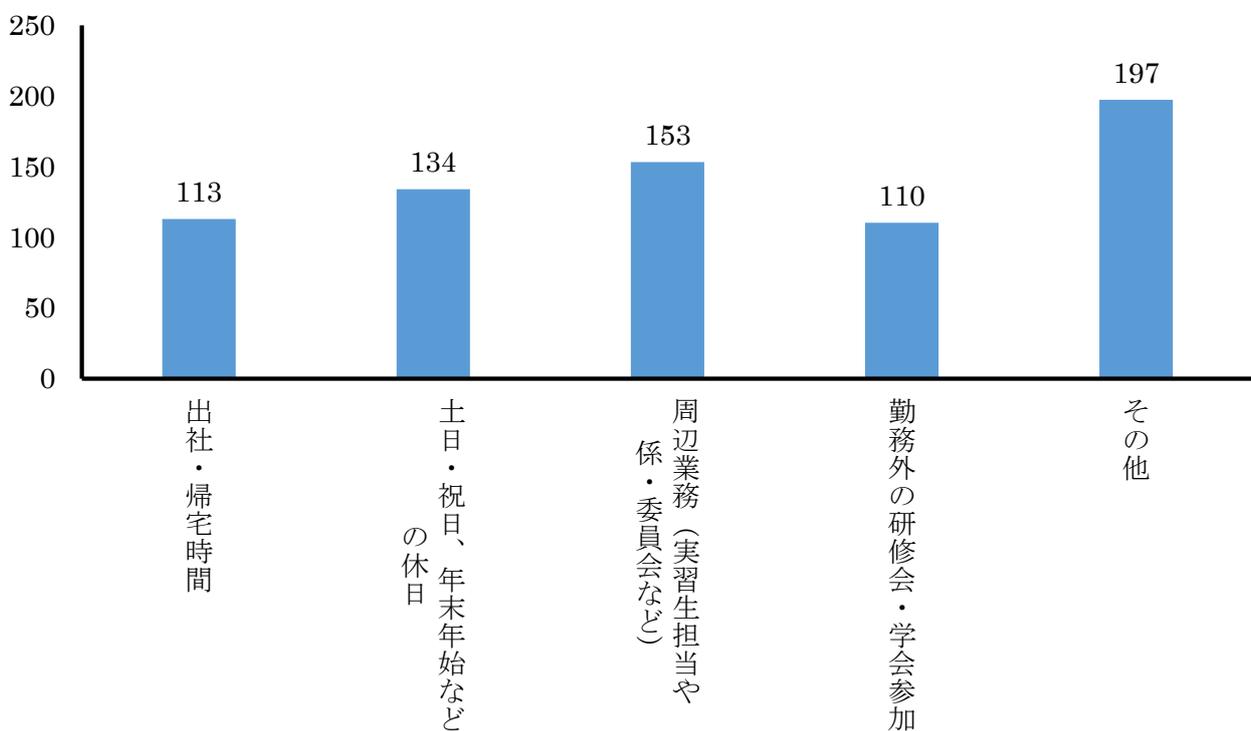
2-⑤ 研修会・学会参加時に子供をどうするか？



<その他の記載内容>

- ・学童
- ・勤務先の保育所
- ・参加しない
- ・土曜日であれば保育園に預ける
- ・保育所の休日保育(別料金)
- ・留守番

2-⑥ 仕事と育児の両立における悩みや支障



< 出社・帰宅時間の自由記載 >

- ・16 時まで迎えに行かなくてはならない
- ・PT は通常業務以外の時間外の仕事が多く(県士会など)、共働きでは難しい面がある
- ・朝 7 時出勤、帰宅 23 時過ぎる事もあり悩む
- ・朝のぐずりが強い時期で、遅刻になってしまう時がある
- ・朝早く残業もあること(リハビリ科以外、診療の応援)
- ・あまり遅くなることが出来ない
- ・あまり遅すぎない様に
- ・家に帰ってからの仕事がありすぎる、子供とゆっくりする時間がない
- ・帰りが 21 時頃になるため
- ・家事・育児の時間が少なくなり忙しい
- ・家族に早い帰宅を望まれる
- ・片道 50km なので、子供と向き合える時間がなく、子供が情緒不安定になったりする
- ・学会や業務外の仕事があると時間外にしなくてはならない
- ・学校行事の時休みがとりづらい
- ・帰宅が遅く十分に子供と向き合えない
- ・帰宅時間が遅い
- ・帰宅時間が遅いため、家族のことを何も手伝えず気を使う
- ・帰宅時間が遅いと夫にかかる負担が大きい
- ・帰宅時間が遅いので、帰宅後から入浴、寝かしつけまでノンストップで、子供とゆとりを持って関われない
- ・帰宅時間が遅く、家事が十分できない
- ・帰宅時間が遅く、子供たちの勉強などをよくみてあげられない
- ・帰宅時間が遅くなり、夕食が 20 時過ぎになる
- ・帰宅時間が遅くなり帰宅後に家事を分担
- ・帰宅時間が遅くなると子供を寝かせる時間が遅くなる
- ・帰宅してからやるが多すぎて、早く帰らないと体がもたない
- ・義母等への遠慮で遅くに帰れない
- ・急な早退がある
- ・拘束時間が長く、家族で過ごす時間が取れない
- ・子供、家族の状況に応じて勤務終了後早めの帰宅の必要あり
- ・子供が小さい時は生活のリズムを崩したくない
- ・子供の送り迎え時間
- ・子供の送迎時間に合わせなくてはいけない
- ・子供の体調不良にて、出社出来ない時がある
- ・子供を迎えに行く時間を気にしながら業務している
- ・子供を迎えに行くので残業できない
- ・残業
- ・残業があるため
- ・残業が多い
- ・残業が多く、家族への負担が多い
- ・残業が出来ない
- ・残業も多く拘束時間が長かった、子供の体調不良等で休みをもらうことも多い

- ・時間外業務が多い
- ・時間に余裕がない、家事と子供の世話のため
- ・自己学習などの時間に充てたいが難しい
- ・出勤時間が登校時間より早く帰宅時間には間に合わない
- ・出社が早く帰宅が遅いので子供との時間がとれない、毎日保育園の延長サービスを受けないといけない
- ・常勤で働いていると、帰宅時間も遅くなり家事育児が大変
- ・職場が遠く、帰宅時間が遅くなる
- ・職場に残って仕事が出来ない
- ・職場までの通勤時間が遠い上に時間外で始まる会議やラウンドが多く、帰宅しても子供の世話がありがたたりしている
- ・送迎時間に合わせるため残業は無理
- ・通勤に時間がかかる
- ・定時で上げられるよう、お昼休みに仕事をしている
- ・定時で帰れない事も多く、夕食、子供の就寝時間が遅くなる
- ・できるだけ早く帰宅したい、逆に早朝に出社し仕事を片付ける
- ・冬期間は出社時間ぎりぎりになる(保育園の開始直後にあずけても)
- ・特に帰宅時間が保育所の迎え時間より遅くなる事が多い
- ・なるべく定時で帰らせてもらってはいるが、業務が時間内に終わらない時もあり、書類作成等、少しためてしまうこともあり
- ・早く帰らねばと思うが、帰れない日が多い
- ・早出の場合、保育園の時間帯的に預けられなくて困っている
- ・早めに帰る必要があり仕事が終わらない
- ・冬場の通勤時間、自宅近くに職場がない
- ・保育以外の夕食作り等が遅くなる
- ・保育園の送迎
- ・保育園のバス時間に合わせ出勤するも遅くなる時がある
- ・殆ど残業できない
- ・ほぼ毎日時間外保育になる
- ・ミーティングや会議などで遅くなる子供への時間が取れず、子供の精神面も不安定になりやすい
- ・帰りが遅いと、子供を寝せる時間も遅くなる

<土日・祝日、年末年始などの休日の自由記載>

- ・365日出勤のため休みの提出が早すぎて予定が立てられない
- ・夫に負担がかかる
- ・終わらずに持ち帰った仕事を優先させることもあり
- ・核家族であり、夫も土、日仕事の日もある
- ・学童保育が休みなので出勤出来ない
- ・家族(祖父母)にあずけるのに遠慮する
- ・学会、研修会が土日多くて参加困難
- ・学会や業務外の仕事があると時間外にしなくてはならない
- ・学校行事と重なる

- ・家庭内の役割を優先しなければ、家庭のバランスが崩れる
- ・休日勤務
- ・休日出勤の時、子供の保育
- ・休日はあるが、残務のため出勤している
- ・休日は行事、子供の用事で疲労が蓄積するため
- ・県土会業務
- ・子が休みの日に勤務
- ・子供が大きくなったら回復期病棟では働けないかもしれません(365日休みなし)
- ・子供行事に加え研修会に参加すると土日の勤務がつけにくい
- ・子供の行事に参加出来ない
- ・子供の長期休み時の預け先が困る
- ・子供の部活や習い事
- ・シフト制のため、土日祝日が休めない
- ・祝日は普通に営業なので全く休めない
- ・祝日は休みが取りにくい、家族の理解が得にくい
- ・親類が集まる時、参加できない時がある
- ・大会や行事などに参加、応援いけない時がある
- ・地区行事もあり、自由は制限がある
- ・家族に休日子供の世話をしてもらうことになり負担
- ・土日、祝日にお休みをもらうのに遠慮したり気を遣わなくてはいけない
- ・土日祝日出勤もあり、子供の預け先に困る
- ・土日出勤時、伴侶への負担が大きくなる
- ・土曜の出勤と子供の面倒の調整、休みの調整
- ・休みが取れない
- ・日祝・年末年始は保育園も休みなので、休みを優先してもらっている
- ・日曜出勤の必要性が低いように感じられる。日曜は出来るだけ家族と過ごしたい
- ・日曜日に働くことが難しい
- ・保育園が休みになるため
- ・保育園が休みの時の預け先に困る
- ・保育園と休みが合わない
- ・保育園の行事(土曜)、年末年始は、仕事を休まないといけない
- ・保育園や学童保育が休みのため、出勤と調整することがある
- ・ほとんど休日ない
- ・ほとんど連休がない
- ・長い休みを取りにくい、出掛けにくい

<周辺業務(実習生担当や係・委員会など)の自由記載>

- ・「子供の面倒も見なきゃいけない」という気持ちの中行うのでストレスがかかる
- ・遅くなってしまう
- ・夫に負担がかかる
- ・会議が多くそのための準備に時間を要する

- ・学生を担当することで帰りが遅くなってしまふ
- ・帰宅時間が遅くなり、夕食が 20 時過ぎになる
- ・帰宅時間に帰りづらくなるため
- ・基本的に夫が家にいない日の時間外は厳しい
- ・協会関係の業務が多過ぎる
- ・業務が集中している
- ・業務終了後の仕事の為、保育園の迎えも気にしながら行うので、集中出来ない
- ・業務で疲労し、子供と向き合えなくなることがあった
- ・勤務時間外の活動に時間をさげられないため委員会等に参加できなくなり周りからも徐々に頼られなくなり自分の存在感が薄れていると感じる
- ・勤務時間外まで実習生指導が長引いてしまうと時間がとれない
- ・参加できないことが多く、多くの時間が費やせない
- ・市外などへの出張を伴う場合出勤が早くなる
- ・時間外に行われることが多く時間調整が大変
- ・時間外に行われるため帰宅が遅くなる
- ・時間外保育が 19 時までなので、指導・参加に制限がでる
- ・時間内に業務が終わらないことがある
- ・仕事が増えれば子供と触れ合う時間が減る
- ・実習生担当すると、業務が増え帰宅時間が遅くなる
- ・実習生の指導が業務時間内で終わらないので保育園のお迎えに間に合わない
- ・実習生は出来る範囲でしか指導できない
- ・実習生を担当すると、普段の業務に支障が出る
- ・実習対応
- ・十分に係や業務に協力できない
- ・通常業務以外の業務は負担にしかならず、引き受けたくない。自身の成長より子供と一緒に過ごせない時間が増えることで悪影響しかない
- ・通常業務でいっぱい、そこまでの余裕がないときあり
- ・定時で帰れない
- ・定時で帰れない事も多く、夕食、子供の就寝時間が遅くなる
- ・とにかく帰宅が遅くなることでの支障多い
- ・夜間帯に実施される研修や会議がある
- ・夕方、時間外の対応となるので家族に迷惑がかかる

<勤務外の研修会・学会参加の自由記載>

- ・2 日間以上に渡るものだと家族負担増えて預けにくい→参加しにくい
- ・預かってくれる人がいないと参加できない
- ・預け先がないと参加出来ない
- ・行かなくなった
- ・行きたい研修会、特に県外・遠方・宿泊が必要なものは足が遠くなる
- ・育児があり、参加困難
- ・遠方の事が多く断念する事が多い

- ・遠方へ行けない
- ・遠方や泊りがけは行きづらい
- ・多く参加したいが、子供を預かってもらうのに気がひける
- ・夫が家にいないときは難しい
- ・夫に負担がかかる
- ・同じ子供がいる家庭でも、子供を預けられる環境の人と比較される
- ・核家族であり、夫も土、日仕事の日もある
- ・核家族では、子供の世話のために参加出来ないことがある
- ・家族(祖父母)にあずけるのに遠慮する
- ・家族の協力が必要であった
- ・学会二日間でも一日しか行けない
- ・学会や業務外の仕事があると時間外にしなくてはならない
- ・学校行事に重なったり、夫の仕事があったりと
- ・帰宅時間が遅くなるものは出られない
- ・休日は子供をみてくれる人がいないため、なかなか参加出来ない
- ・興味があっても家庭が優先的になってしまう現状にある
- ・興味はあってもなかなか参加出来ない
- ・県外には行けない
- ・県外の研修会に時間・費用面で行けなくなった
- ・研修会等に参加が多くなると子供との時間が取れない
- ・研修場所が遠かったり、1～2日かかる学会だと預ける場所がない
- ・子供が自分を必要としているのがわかっているのに、勤務外も子供と離れて寂しい思いはさせられないという思いがあるため
- ・子供と一緒にいる時間が減る
- ・子供と過ごす時間を考えると悩む
- ・子供の行事・イベントに帯同するため
- ・子供の世話をしてもらえる人が少ない
- ・子供の習い事等
- ・子供を預けて参加するのに気が引ける、平日も一緒にいれないのに休日も仕事で一緒に過ごせない
→子供を優先させてしまう
- ・子供を預けられず、ほとんど参加できなくなった
- ・子供を預けられる環境にもなく、参加が難しい
- ・子供を預ける家族の都合がつかないと参加できない
- ・子供を預けるための準備などが大変
- ・子供を置いて家を空けることに抵抗がある
- ・子供をみるために出れないことはよくある
- ・参加しづらい
- ・参加したいが子供を見てくれる人がいないため参加できない事が多い
- ・参加自体が難しい
- ・参加したい研修会があっても参加出来る数が少なくなった
- ・参加したくても子供がいて面倒をみなくてはいけないのでできない
- ・参加しにくい、休みの日位は一緒に子供と過ごそうと思うので

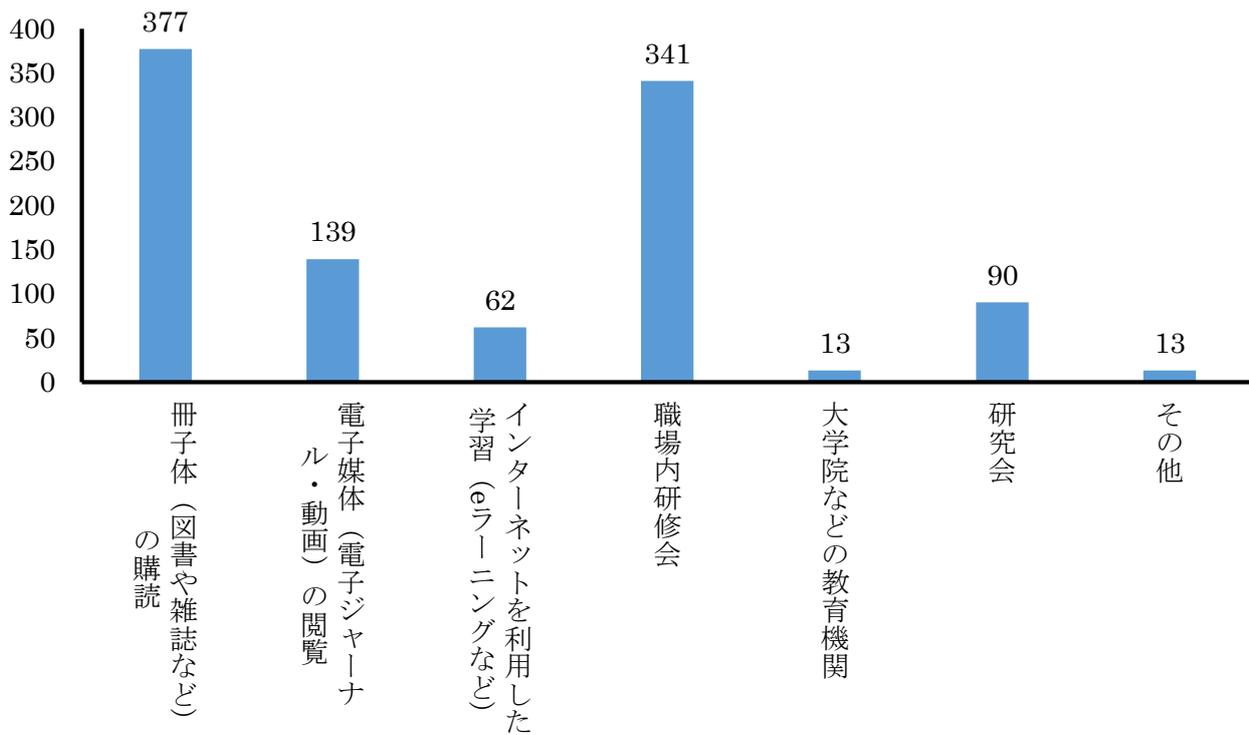
- ・参加費・交通費がかさむ、近隣での研修がない
- ・時間的にも金銭的にも難しい
- ・時間の制約、子供を預けることができず参加出来ない事が多い
- ・時間費用が捻出しにくい
- ・宿泊する研修は参加しにくい
- ・託児所がほしい
- ・同居なので平日忙しい上に、休日も子供を義母に預けていくことに申し訳ない
- ・土日は預けられず、学会等に参加しにくい
- ・泊まりの研修に行きにくくなった
- ・共働きのため参加回数を減らさざるを得ない
- ・日程調整が大変
- ・配偶者が土日もないため参加が難しい
- ・頻回に家族に預けるのが申し訳ないので参加の頻度は少なくなる
- ・平日の有志勉強会に参加しにくい
- ・平日の夜は参加したくても、子供を見てもらい、寝かせることまで頼める人がいないので厳しい
- ・幼児と学童(兄弟)一緒に預かってくれるところがないので、研修会などに参加しにくい、特に日曜日
- ・夜の研修会には参加出来ない
- ・両親、妻も働いているため子供を簡単に預けられず、希望する研修会に参加できず知識を深められていない
- ・仕事が増えれば子供と触れ合う時間が減る

<その他の自由記載>

- ・2人で育てているため時間そのものにゆとりがない状態。平日早く帰ってくる努力はしているが限界がある。週末にまとめて家事もするため仕事(研修も含む)との両立に苦労している
- ・PTA 役員をはじめ、職場での役が増えると、仕事との調整が困難
- ・核家族のため子育てをするマンパワー不足
- ・子供が具合悪いときに休みをもらいづらい。育休ももらいづらい
- ・子供が具合悪い日が続いて休みをもらったりすると、出勤しづらい。勤務時間が終わるとすぐに帰るのだが、いつも自分が一番乗りで帰るので、その他いろいろあり、少し居づらい感じがある
- ・子供が熱を出したりした時に年休がなかなか取れないので夫に休んでもらっている
- ・子供に障害があり送迎や医療機関への受診時の付き添いなどもあり、どうしても休暇が他のスタッフよりは多くならざるを得ないが、役職などがあるとその間での優先順位を決めるのに悩みがある
- ・子供の病気で休まなくてはいけなくなる
- ・これから復帰するが、出産前と職場環境が変わり、両立がすごく不安
- ・自分でも行ってみたいと思う研修はあり、研修に行くか迷っていて、結局行かずに終わってしまうことがある
- ・自分の用事や余暇に有休がとれない
- ・収入が低い
- ・全て仕方がないと割り切ってきた
- ・年休が取りにくい(子供の用事に使い、それを優先するから)
- ・夫婦共に同系職種のために、研修会はどちらかしか参加出来ない
- ・保育園からのお迎えコールで急な休みが発生する
- ・有休取得

3) 過去1年間の学習機会

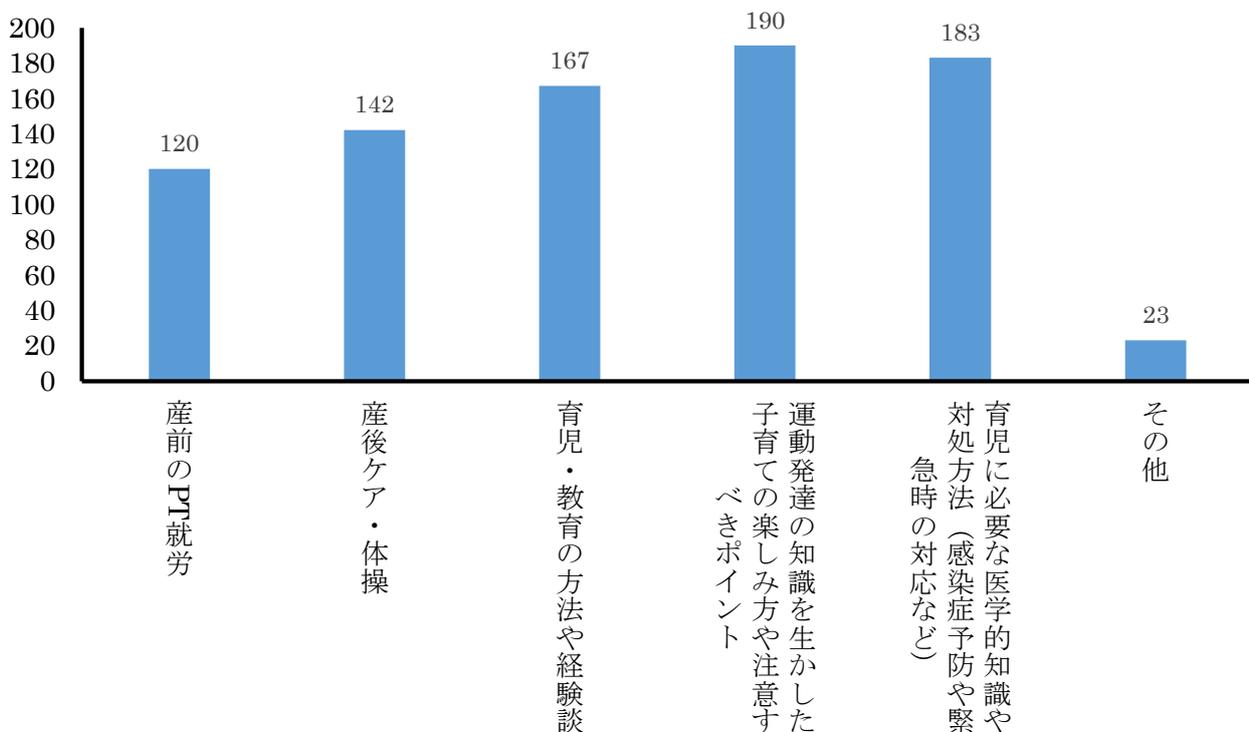
3-① 研修会・学会以外の学習方法



<その他の記載内容>

- ・院外研修会への参加
- ・インターネット等、利用したいが、そんな時間はない
- ・院内図書利用
- ・県外での講習会
- ・実習指導の一環で
- ・セミナーDVDの購入
- ・その分野に詳しい同僚に頼る
- ・伝達
- ・病院、学校での冊子体の閲覧
- ・勉強会へ行く

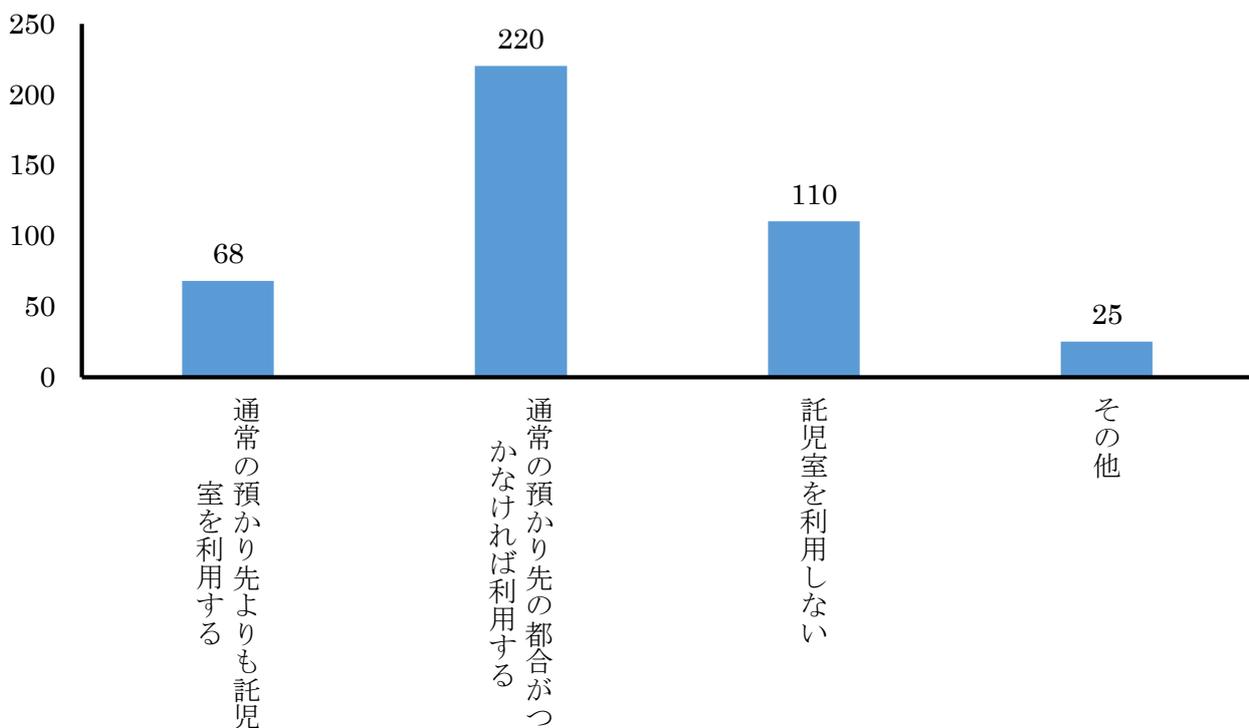
3-② 興味のあるテーマ



<その他の記載内容>

- ・PT としてする内容なのかが疑問
- ・PT ママ友の会
- ・育休取得中・後の経験談について
- ・今は興味がない
- ・学校保健領域に関する理学療法
- ・考えたことがないためわからない
- ・興味なし
- ・ぐずっている時の対処法(自分が甘いのかと悩む)
- ・県士会は PT の内容のみでいいと思います(上記は不要)
- ・現段階で興味がない
- ・子育てと仕事の上手な両立法
- ・子育ても含めた女性のワークライフバランスの取り方
- ・子供のおかれた環境、個性、価値観などは違うので一概に企画できないと思う。多様な研修、子育てに関する講演に参加できる職場の雰囲気やバックアップ体制が重要(そのような研修内容の周知や各種の情報提供)
- ・産後の PT 就労
- ・産前・産後のパパ活動に重きを置いた若手 PT 向けのイベント
- ・時間管理について
- ・仕事と家庭の両立方法など
- ・特になし
- ・どの位大変なのか、子供がいない人にも知ってもらいたい
- ・ワークライフバランス

3-③ 託児室を利用するか



<その他の自由記載>

- ・1度きりの託児室に預ける事に不安がある
- ・預かり人数や内容に左右される
- ・過去1年間利用したことはありません
- ・基本的に家族だが場合によっては利用する可能性あり(家族の都合、金額)
- ・現在利用する事がないためわからない
- ・研修会の場所、時間、託児室の質に応じて利用を考える
- ・子供がいいためわかりません
- ・子供がいないので利用しない
- ・子どもを度外視してまで研修会の参加はしない
- ・知らない人に見てもらふ事は子供にとってすごいストレス、夜泣きがひどくなる
- ・想像できない
- ・託児室が利用できる・できないは子供の状況によるケースも出てくる、保育者が変わる・環境が変わると泣いてしまう…など研修会中子どもを心配するあまり集中できなくなってしまうのではないかと
- ・どういったものかわからないので何とも言えない
- ・料金・スタッフの質をみて利用したい
- ・わからない
- ・分からない、子供がいいため
- ・わからない、託児室の内容による

4 自由記載

- ・〇〇法などで会員を縛らないでほしい。もっと自由な学問をさせるべき。困っている人多すぎますよ
- ・3-③のようなところは試しても良い気がします
- ・PTとして生涯学習し続ける必要があることを家族に理解してもらえない人もいます。休日を割いての研修会参加の理解が難しく休日は家のことも山積みで何ともならないこともある
- ・多くの方に参加していただくためのアンケートだと思いますが、大変ご苦労様です。皆さんがより参加しやすいよう、時間帯(土曜の夜なども活用)などご検討いただくと助かります
- ・学会は演者のみが託児利用可なので、そうでなければありがたい
- ・可能な限り早く研修会等の予定、日程、場所を告知してもらいたい。子供を預けるにしても早めの予定を立てないと家族も都合がつかないため。妻は交代勤務のため前の月の20日に休みの希望が締め切られる。例えば7/30の予定を6/30にFAXされても遅いんです。「研修会のお知らせ」が1~2週間前に来たりするとガッカリします。会員の事をどれだけ暇人だと思ってるのか怒りすら覚えます
- ・興味が持てるテーマや実践に活かせるテーマ、現状で困っていることをディスカッション出来る場など取り入れてもらえると良いと思う
- ・研修会などの案内にもっと具体的に内容やスケジュールを入れて欲しい
- ・研修会に毎回託児所があれば参加しやすくなります。特に、これがPTだけでなく、PT・OT・STも参加するようなものでも実現して頂ければ個人的にはありがたいです
- ・研修会費の無料化
- ・研修会や講演会の内容を動画で配信してほしい。TV等ではツイッターを使い視聴者の意見を取り上げているが、同様の方式でリアルタイムに質問を受けるようにすれば遠方でも学習しやすくなる
- ・研修費用を安くして欲しい。託児所を充実させて欲しい。研修に参加できない人のために、インターネットで学べる環境を充実させて欲しい
- ・講師の都合もあると思いますが、1つのテーマで土日続けての研修は参加しにくいです。2日以上におよぶ際は2週(以上)連続の土曜日など前編・後編の様にしてもらえると家族にも理解を得られやすいです
- ・交通の環境が良い所で開催する
- ・子育て世代が研修会へ参加できることは、職場で全体で把握して頂きたい。出れないことを責めるような雰囲気もなくして欲しい。仕事より子育てを優先していることを認めることは、日本社会として少子化問題としたことを含め大切だと思う
- ・子供と一緒に出席出来る研修会や集まりなどがあると、小さい子供を連れていきやすい
- ・これは私だけかもしれませんが。自動車の運転出来ないため、特に山形で大学などで行われるのには参加できません。山形駅周辺ならともかく、更に、バスに乗り目的地まで行くと、時間が合わなかったりで参加できません。また、子供はいませんが、このような仕事をしながら親の介護もあり、仕事以外に遠くへ行けないという事もあります
- ・参加したいが出来ない人のために何かしてもらいたい。資料だけでももらいたい
- ・参加費を安く、色々なジャンルの内容(他職種とからむ様な)
- ・仕事と生活の両立をしていくための研修会などあればよいのではないのでしょうか
- ・施設長などへ向けて、施設の理学療法士が研修会などへ参加するようにFAX等で促して頂けると、参加しやすくなると思われる
- ・支部活動や委員会で実施する研修会の内容が被っていることが多く、企画する側も大変だし、出席を考える参加者もどれに出ようか迷ってしまう事が考えられる
- ・出産を機に前の職場を退職した。以前の職場は仕事としては続けたい職場だったが、子育てをする(出来る)環境になく、なくなると退職した。今の職場は、子育てに理解のある職場だが、本当にしたい仕事かという「はい」とは言

い切れない。仕事、職場を選べるだけ幸せなご時世かもしれないが、一人の PT としてキャリアを諦めなくてはならない現状があるのはとても悔しい。もっと女性(男性も理解を)が働きやすいように何か取り組みを行って欲しい

・庄内から内陸に行くのは本当に大変なので、午前のみとか午後 15 時くらいで終わってもらえると家族にも負担が少ないと思います

・庄内での開催

・庄内での開催を多くして頂きたい

・女性会員が増えてきているので、朝早くからの研修会や夜遅くまでの研修会では子供がいる方は参加が難しいと思います。開催時間を検討すれば参加者が増えるのではないかと思います

・書籍などを出している著名な講師による研修会

・託児機能が充実してほしいです。または、子供と一緒に参加可能というような気軽に学べる学習会のようなものがあると参加しやすいと思います

・託児室設置の事前アンケートでしょうか？他県、他団体で設置しているところを最近よく見かけます。ぜひ当士会でも早期実現を

・託児室に保育士数人などしっかりした人が配置されていれば預けやすいかも。授乳室・おむつ替えコーナー等の設置

・託児室を設置してほしい

・短時間でも身になる研修に参加したい(早目に終わる研修に参加したい)

・男女平等をもっと進めること

・通常業務時間内で参加できるような体制・理解があると、参加出来る人と出来ない人の差がなくなると思う

・どうしても知り合い同士のかたまりが出来、幅広く全員で参加しようという雰囲気作りが出来ていないと思う

・場所が近い程参加しやすい

・夫婦同業で、研修会などはどうしても夫の参加が優先されてしまうため、託児室の設置は早急に対応して頂きたい。

・平日開催が良い。休日開催では行く気にならない

・雪の時期の研修を廃止。県学会一日にまとめる

・理学療法士の年間所得が上がると良い